

みよし市スポーツ推進計画 2026-2030（案）のパブリックコメント実施結果

1 計画名

みよし市スポーツ推進計画 2026-2030

2 実施期間

令和7(2025)年12月9日(火曜日)から令和8(2026)年1月17日(土曜日)まで

3 募集方法

実施期間内に電子フォームから、または任意の様式に住所、氏名、電話番号、計画に対する意見を明記して、担当課へ郵送、ファックス、若しくは直接提出

4 募集結果

(1) 提出者数 4人

(2) 提出意見数 5件

5 提出された意見と本市の考え方

番号	意見	市の考え方
1	<p>【指導・ボランティア実施率の目標】</p> <p>市の人口予測が 63,000 人に対して、スポーツ人口が 80%（20 歳未満は 70%）の高い目標を持つことは素晴らしい。</p> <p>20 歳未満は指導が必要な年齢層が多い。</p> <p>指導・ボランティア実施率の目標は 10% であり、単純比率で活動者 7 人に対して 1 人の指導者が必要となる。実際に指導を経験していると 1 人で 7 人の指導は負担が大きいと感じる。活動者 10 人に対して 2 人の指導者が求められる姿と考えるため、指導・ボランティア実施率は 14%を目指す必要がある。</p>	<p>種目により指導者 1 人で指導できる活動者数に違いがあると考えます。</p> <p>また、指導・ボランティア実施率は、現スポーツ推進計画を策定した平成 28 年度の 8.5%に対し、現状 6.6%と減少していることから、新たな計画においても現スポーツ推進計画の目標値である 10%を引き継ぎ、達成に努めます。</p>
2	<p>【三好丘地区のスポーツ施設（おかよし交流センターでの活動）】</p> <p>三好丘には気軽にスポーツができる場所が少ない。おかよし交流センターで卓球、バドミントン、ピククルボールなどができると良い。</p>	<p>おかよし交流センターのホールは、軽運動が行える施設として利用されています。また、御提案いただいた卓球以外の種目は実施可能です。</p> <p>いただいた御意見は、施設管理担当課と共有し、今後の事業の参考とします。</p>
3	<p>【部活動の地域移行】</p> <p>小中学生の部活動の地域移行について、生涯スポーツの観点から総合型地域スポーツクラブで進めれば良いと思うが、中学生の競技スポーツは指導者の問題をどうしていくのか、具体的な提案が欲しい。</p>	<p>本推進計画は、行政のみならず、市民やスポーツ推進団体などの様々な主体が連携・協働し、新たな視点でスポーツ推進を実現していくための指針として策定するため、具体的な事業提案は記載していません。</p>

		部活動の地域移行・地域展開は指導者の確保が課題であり、種目の実情に応じ地域資源が活用できるよう、関係者間の連携・協働が必要であると考えます。そこで、『施策方針1 地域スポーツ推進の基盤強化』の主要施策として「スポーツ人材の育成・活用」、「地域スポーツ関係者の連携・協働体制の構築」について記載しており、基盤強化に努めます。
4	<p>【カヌーのまち三好】</p> <p>カヌーのまちみよしであると思っているが、カヌーについての記述が少なすぎると思う。カヌー部に所属している保護者からカヌーの中学生全国大会に参加するためには旅費を含めた参加費が20万円必要と聞いた。カヌーのまちみよしの看板は降ろしたのであれば領けるがどうなのか。</p>	<p>現在も変わらずカヌー競技振興に努めています。カヌー競技が更に発展するように、みよし市カヌー協会は、市の任意団体からカヌーに携わる人々の意志と努力で魅力ある運営ができるよう法人格を取得してきました。</p> <p>全国中学生カヌー競技大会に係る費用は、他の競技と同じように自己負担によるものです。</p> <p>本市のスポーツ推進計画は、カヌーに限らず様々なスポーツを行う市民のために策定するものです。</p>
5	<p>【地域に根付いた年少児から活動】</p> <p>年長時からの体育的な関わりより年少児からの継続的な関わりによる発達を考えるとによりメリットが大きくなると思う。市内にあるスポーツクラブのノウハウを活かして地域と密接な関わりを持たせることにより、地域に根付いた活動を続けていくことができるのではないかと。</p>	<p>本推進計画には、様々な主体がスポーツ推進事業を企画・実施する際の参考となるよう事例を掲載しています。掲載する(一社)三好さんさんスポーツクラブの教室開催では、年長児から小学生を対象としています。いただいた御意見は、関係団体と共有し、今後の事業の参考とします。</p> <p>また、『施策方針2 多様な主体におけるスポーツ機会の創出』の主要施策に「スポーツ教室の開催支援・連携」を掲げ、施策の展開方針として「乳幼児期から親子でスポーツに親しみ、こどもの発育発達に応じて身近な場所でスポーツに親しむことができるよう、スポーツ団体と連携した教室の開催」について記載しており、地域に根付いた活動の推進に努めます。</p>